

を弄し、且つ吾々を以て究極は三三三迄に止まらざらんとして、然し「供給上の支障等は別事之モト候信」してゐると云ふ。何たる偽購的、村俣であらうか、會社の取つてゐる現在の無理解と無果な態度と反省するが、何のつらう、以て何の大事を引延すか、し知れぬので「萬無之モト候信」するとは聞ておき、此のを得ない、萬一大事を引起したら、いさうするか。メーカーも目前に差迫つてゐる、今日會社に一刻も早く吾民に對する不安と脅威とを取り去るべき責任がある。市民も常用家も株主も従業員も卑劣なる東電の偽購政策を監視せよ！
吾々は潰敗せる伏魔殿東電の革新のため、會社の不信と不徳行為とを暴露して、最後迄闘争するであらう。▼
大正十五年四月廿八日

東電従業員組合争議團本部

下谷区御徒町三ノ三五

別記三

組合に協力せよ

「一般従業員諸君!!!」我が東電従業員組合は、いよいよ左の如き要求書を提出して、一般従業員の爲めに會社と戦ふことになつた。會社は給料は與げるが、組合はぶつぶすと暴言を吐いてゐる。組合をぶつぶつしてを、ヤ、ヤ、ハすれば又今迄の様に劣悪な待遇で、我々を使用するところが出来ると考へてゐるからだ。

我が東電従業員組合は此の際如何なる壓迫が來ようとも東電全従業員、利福の爲めに断呼として戦ふものである。

一般従業員諸君。我が組合が勝つか負けるかは單に我々組合員の問題ではない。それは實に全従業員の利福に關する問題だ。會社は諸君を逆用して我が組合の力を削かんとしてゐる。諸君！心せよ